

## お客様へのメッセージ冊子

---

この冊子は、お客様に向けた、セゾン投信のメンバーの思いや、  
応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。

ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、証券取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

2007年6月1日

## 投資家仲間へのメッセージ V o l . 3

2007年6月1日

### 戦後の日本

日本という国はいま大きく変わろうとしています。終戦後の高度成長を通じて、我が国は見事敗戦の痛手から立ち直り先進国への仲間入りを果たしました。しかしこれはあくまで経済大国になったということで、20世紀の日本は決して世界から真の一流国とは見られていなかったはずです。実際政府は戦後復興における第一の目的を経済成長に置き徹底した経済至上主義を国策の是としてきたわけで、官僚主導体制の下で規格大量生産を拡大させることを最優先とした効率性の追求が第一の正義として規定されるなか、国民ひとりひとりの人生の豊かさ、国家としての精神的豊かさは当然のようにプライオリティの低い位置づけを余儀なくされてきました。60年代には良質とはいえない日本製品を余裕と冷笑をもって迎え入れた欧米も、70年代に入り気が付くと、集中豪雨的に輸出してくる「メイドインジャパン」の品質の高さを認めざるを得なくなり、保護主義政策の台頭と共に「エコノミックアニマル」というありがたくないレッテルを日本人に貼りました。そして80年代は日本経済が世界を凌駕しジャパンマネーが世界中を席捲、「ジャパンアズナンバーワン」として日本が最も光り輝いていた時代です。それでも日本はあくまで経済大国であって、政治の舞台でも文化芸能の世界でも決して主役になることはありませんでした。

### 現状の日本

バブル崩壊後のいわゆる「失われた15年」により、日本の風景は大きく変わりました。有頂天になっていた日本経済はバブル崩壊をきっかけとして次々と綻びを顕在化させていきました。行政の厚い保護や政官財のトライアングルで既得権益を守られていた業界は、高度経済成長を前提としなくなった新しい社会への対応ができず、倒産・債権放棄・国有化などさまざまなかたちで淘汰されていきました。世界はIT革命以降グローバル化・ボーダレス化が急速に進行し、ヒトもカネもそして情報も自由な行き来が始まったのです。そして市場原理が働くフリーで、透明で信頼できるフェアで、国際化の波を受け入れるグローバルな市場・業界のみがその存続を許される、そんな世界レベルの構造変化に、島国日本も晒されることになりました。気が付いてみると、かつては米国市場に比肩していた東京株式市場の時価総額は米国の4分の1に、世界3大通貨としての円の取引量はドル・ユーロに大きく水をあけられ英ポンドと同規模のレベルまで低下するなど、金融市場における日本のプレゼンスは悲劇的に低下してしまいました。しかしようやく2005年あたりから日本経済も、デフレ・バランスシート不況と呼ばれる痛みを克服した企業たちが、世界の新しい流れ・価値観に適応し新たな成長軌道を描く牽引力となり始めました。それはこれまでの唯我独尊で閉鎖的な日本から、世界の中で共に生きる日本を日本人自身が自覚し行動し始めたからにほかなりません。

### これからの日本

日本は西ヨーロッパ・アメリカに続いて成熟先進国になりました。現在世界の成長は成熟

先進国が消費し、中国・インドなどの新興国がそこへの物財供給者となることで両輪がうまくまわっています。成熟先進国となった日本は、いまやかつての規格大量生産品ではなく高付加価値なもの、つまり知価提供者として世界経済での役割を担うようになりました。小泉政権以降政治上の立場も実は米欧に負けないほどに高くなっています。そして何といっても日本が独自の情報をたくさん発信する国になってきた、これこそが日本を見る世界の目のいちばんの変化ではないでしょうか。アニメに始まり芸能・文化・ライフスタイルに至るまで、世界はいま日本そして日本人に注目し始めています。日本には長い歴史があり、高度な伝統文化があり、それらに裏打ちされた高い技術力・表現力があります。そして官に頼らず私たちひとりひとりがそれらの素晴らしさを世界に発信していく、日本は成熟国として順調なスタートを切ったのです。

### セゾン投信が果たす役割

我が国の本年度経済成長率予測はおおむね2%強、たしかに好景気と言われながら数字的には大したものではありません。ところで成熟国の先駆者といえば英国ですが、歴史を振り返るとイギリスの1833年から1901年、つまりビクトリア女王治世の64年間で経済成長率は毎年1%だったそうです。それでも64年間コンスタントにそれを続けることで、この時期イギリスは大躍進し大英帝国になりました。これからの日本も、高度成長を新興国に譲ると共に安定成長軌道を得たと考えれば、今年の2%成長は十分なものだと考えられます。そして成熟国日本において、私たち日本人はひとりひとりが自分の力で豊かな人生を創りあげていかなければいけません。成熟国家は等しく財政赤字を抱え、小さな政府を指向します。自分で考えて行動する人にはチャンスが与えられ、行動しなかった人には厳しい現実が突きつけられるのが成熟社会なのです。そしてそんな成熟社会日本において将来の資産形成を求めるならば自ら決断し行動して、運用を始めるしかないので。一方でひとりひとりは運用に貴重な時間を割くべきでないとも思っています。それぞれがそれぞれの分野での専門性を高め、自分自身を磨くことに自分の時間を使うべきであって、自分磨きに努力しながらも将来の資産形成をしっかりと行いたい、それに応えるのが投資信託の本来の使命と私たちは考えております。私たちセゾン投信は、そのために長期投資の軸をしっかりと据えて懸命に運用し揺るぎない信頼を得て、人生を頑張る人たちに運用の成果を届けることが使命です。

日本の生活者ひとりひとりが極めて高いレベルで専門性を持って、それが世界に向けて発信されて、そのメッセージには自信や誇り、さらには謙虚さや寛容さといった日本人が本来持つ美意識が含まれたものであったなら、それを受け取る世界の人々から日本は素晴らしい一流の成熟国だと尊敬されるにちがひありません。そんな日本を創るために、長期投資という分野でセゾン投信が精一杯貢献できる存在になることが弊社一同の目標であります。

セゾン投信株式会社  
代表取締役社長 中野晴啓

## お客様サービスを創造する不変のスタンス

《セゾン》カードは今から 25 年前に発足し、今日、日本で最も多くのお客様に愛用されつづけるクレジットカードに発展させていただくことに成功致しました。

これもすべてお客様のおかげであり、多くのお取引先との協力の賜物と云えましょう。

後発の《セゾン》カードが、何故最も多くのお客様の支持を獲得できたのでしょうか。

それは他のカード会社より、少しでもお客様寄りのサービスの開発をし続けたからに他なりません。

カードの年会費無料、小売との提携による割引制度、アメックス・インターナショナル社との提携による安価なプレミアム・カード、ポイントの永久不滅化、そして、今度の資産運用・資産形成の決め手となる投信ビジネスへの参入、ポイントが 2~19 倍貯まる永久不滅ドット・コムを展開、2 万円でダービー馬の持主になれる可能性のあるサラブレッドクラブセゾン。

つまりお客様の合理性や納得性、次から次へと新しい展開を考えていく業界のリーダー、そして夢をかなえるツール、それが一年間で 500 万人（2006 年 資本提携会社含む）のお客様に申し込んでいただいた証明ともなるのです。

いよいよ、セゾン投信が立ち上がりました。世界最大級の資産運用会社バンガード社と、日本における長期運用のパイオニアであるさわかみ投信と組んで、この業界では、多分規格破りの提携による、新たな投信会社としてスタートが切れたと思います。

《セゾン》カードがスタートを切った当時と同じで、最初は存在感もそれ程ないと思いますが、そのうち見ていて下さい。皆様のご支援と口コミによって、爆発的な展開が期待されるといったことになると考えています。

私達は夢を抱きそして実現して参ります。

この夢に早く乗っていただく方を沢山ご紹介下さい。

「長期」「分散」「複利」これをうまく活用する以外に資産運用、資産形成に成功する王道はありません。多くの我が国の「投信」はひょっとすると「投身」自殺になりかねません。今後しばらくは、世界経済の同時成長により運用は好調でしょうが、何時サドンデスがやってくるかわからないのがこの世界です。

しかし、我々はそうした相場の大きな波も小さな波も、たくさんの長期投資仲間と共にゆったりと乗り越えて行くことで、ずっと安心してつづけることができるでしょう。

株式会社クレディセゾン  
代表取締役社長 林野 宏

## セゾン投信の素顔

皆さんこんにちは。

セゾン投信が、資産形成を地道に行いたいという多くの方のニーズに応える 2 本のファンドを立ち上げてもうすぐ 3 ヶ月になろうとしています。皆様の資産形成のお手伝いと長期投資家仲間の創造と応援という命題を掲げて営業をスタートしましたが、社員一同嬉しい手ごたえを感じています。

既に口座を開設いただいた方を含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を立ち上げました。ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介していきます。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりを少しでも感じていただければ幸いです。

先日「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(熱狂の日)音楽祭 2007」に行ってきました。「ラ・フォル・ジュルネ」とはフランス北西部の港町ナントで 1995 年に誕生したクラシック音楽祭で、クラシックを一部のファンの独占物ではなくもっと多くの人に楽しんでいただくこと<クラシックの民主化>という主旨で開催されています。日本では 2005 年にベートーヴェンをテーマに 32 万人、2006 年はモーツァルトをテーマに約 70 万人の来場者を記録しました。会場では、朝 9 時から夜 11 時過ぎまで 9 つの会場で同時並行的に 45 分間のコンサートが 5 日間で約 300 公演繰り広げられ、私たちは好きな時間に好きな公演をチョイスし、1 公演あたり 1500 円～3000 円という驚きの低価格で一流のクラシック演奏を聴くことができます。だからといってアーティストのレベルを絶対に下げないのがラ・フォル・ジュルネ流。「一流の演奏を低料金で提供することによって、明日のクラシック音楽を支える新しい聴衆を開拓したい」という考えに基づいており、実際に来場者の 6 割はクラシックコンサート初体験者だそうです。

3月に2本のファンドが立ち上がったから立ち止まる余裕もなく毎日が過ぎていく中で、クラシックでも聞いてリフレッシュしてみようと今回初めて音楽祭に足を運びましたが、実際に音楽を聞きながら、これって、投信マーケットにおける私たちセゾン投信の取り組みと似てない??と勝手に共通点を見つけて嬉しくなっていました。ラ・フォル・ジュルネ流にいうと「一流の商品を低コストで提供することによって、明日の日本を支える新しい投資家を開拓したい」といった感じでしょうか。いつの日か私たちセゾン投信も何十万人ものお客様に支持していただける会社になりたいと壮大な思いを抱いたのでした。

佐藤恭子

1年ほど前から定期的に聞いているラジオドラマがあります。クルマの中でたまたま聞いたのがきっかけとなり、日曜日の黄昏時はできるだけラジオをつけるようにしています。

なぜ、その番組を聞くかというと、青春時代だった80年、90年代のヒット曲が流れたり、子供の頃に見たアニメの話題が出たりと懐かしさに溢れているからでしょう。

それは最近の流行から徐々に取残されていることの裏返しであったりもしますが...

これから梅雨の季節を迎えるわけですが、雨が降って外出しない日はちょっとラジオに耳を傾けてみませんか？

工富功

今年のGWはのんびり過ごそうと決めていたので、僕の唯一のイベントは歌舞伎鑑賞でした。僕は歌舞伎が好きで時間が許す限りなるべく毎月歌舞伎座へ通っていたのですが、このところ余裕がなく久しぶりの伝統文化とのふれあいの時間でした。5月は毎年「団菊祭」といって、団十郎と菊五郎が共演するのが慣わしですが、今年は敢えて新橋演舞場で吉右衛門、染五郎を観てきました。歌舞伎の醍醐味はなんと言ってもその完成された様式美と、その立居振舞いの細部に至るまで計算し尽され、写実を超えた奥深い表現力の豊かさを感じることに在ります。そしてその繊細な滋味を味わうにつけ日本文化、ひいては歴史に裏打ちされた伝統の凄み、そして日本人であることの誇りを感じずにはいられません。同時にあらゆる人間に同居する弱さと強さ、人が生きることと出会う喜びと悲しみの描写を自らに投影するなかで、「利己を克服した皆さんの長期投資家仲間にも満足していただくことを人生の喜びとする」という自分自身の心の声を改めて確認する機会でもありました。

中野晴啓

## セミナー情報

### <セゾン投信主催セミナー>

テーマ : これから始める投資、長期での資産形成  
日時 : 6月6日(水) 19:00~20:00  
講師 : セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓  
場所 : 有楽町西武 7F プラチナサロン (住所: 東京都千代田区有楽町 2-5-1)  
費用 : 無料

### <セゾン投信主催セミナー>

テーマ : 資産づくり~失敗しないために知りたいポイント~  
日時 : 6月19日(火) 19:00~20:30  
講師 : ファンドコンサルティングパートナーズ 代表 房前督明氏  
場所 : ベルサール神田 (住所: 東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 3F)  
費用 : 無料

### <クレディセゾン・セゾン投信共催 資産形成セミナー>

テーマ : 長期投資の魅力に迫る~豊かな人生設計のために~  
本セミナーの参加申込は6月18日からとなります。

#### <プログラム>

講演 林野宏 (株式会社クレディセゾン 代表取締役社長)  
中野晴啓 (セゾン投信株式会社 代表取締役社長)  
パネルディスカッション  
澤上篤人氏 (さわかみ投信株式会社 代表取締役)  
加藤隆氏 (バンガード・インベストメンツ・ジャパン証券株式会社 代表取締役)  
林野宏  
中野晴啓

日時 : <大阪会場> 7月22日(日) 13:00~16:00  
場所 : 梅田スカイビルタワーウエスト (住所: 大阪市北区大淀中 1-1-88)  
費用 : 無料

日時 : <東京会場> 7月29日(日) 13:00~16:00  
場所 : J Aビル (J Aホール) 9階 (住所: 東京都千代田区大手町 1-8-3)  
費用 : 無料

### <マネックス証券・セゾン投信共催セミナー>

テーマ : 内藤忍と中野晴啓が語る!!  
「マネックス資産設計ファンド」VS「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」  
世界分散投資型のノーロード投信としてよく比較される2商品をテーマに、内藤忍氏 (MU) と中野晴啓 (セゾン投信) が壇上バトル!? 当日は質疑応答を中心としたパネルディスカッション形式で2人が商品に対するそれぞれの思いを熱く語ります。  
本セミナーの参加申込は6月中旬からとなります。

日時 : 7月25日(水) 19:00~20:30  
講師 : 内藤忍氏 (株式会社マネックス・ユニバーシティ 代表取締役社長)  
中野晴啓 (セゾン投信株式会社 代表取締役社長)  
場所 : 日本教育会館 第一会議室 (住所: 東京都千代田区一ツ橋 2-5-2)  
費用 : 無料

### <セゾン投信主催セミナー>

- テーマ : 長期投資の魅力に迫る～豊かな人生設計のために～(仮)  
本セミナーの参加申込は6月中旬からとなります。
- 日時 : 8月11日(土) 13:00～16:00
- 講師 : 澤上篤人氏(さわかみ投信株式会社 代表取締役)  
加藤隆氏(バンガード・インベストメンツ・ジャパン証券株式会社 代表取締役)  
中野晴啓(セゾン投信株式会社 代表取締役社長)
- 場所 : 中区役所ホール(住所:名古屋市中区栄4-1-8)
- 費用 : 無料

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00～17:00 土日祝、年末年始を除く)

### <セゾン投信役員が講師として参加予定のセミナー>

FJ資産運用サミット2007

- 日時 : 2007年6月16日(土) 13:00～16:00 予定(途中入場不可)
- テーマ : 投信マーケットに一石を投じる
- 講師 : 中野晴啓(セゾン投信株式会社 代表取締役社長)
- 場所 : 六本木アカデミーヒルズ49(六本木ヒルズ森タワー49F)
- 主催 : ファイナンシャル ジャパン

本セミナーはファイナンシャル ジャパンのホームページよりお申込ください。

## よくあるご質問

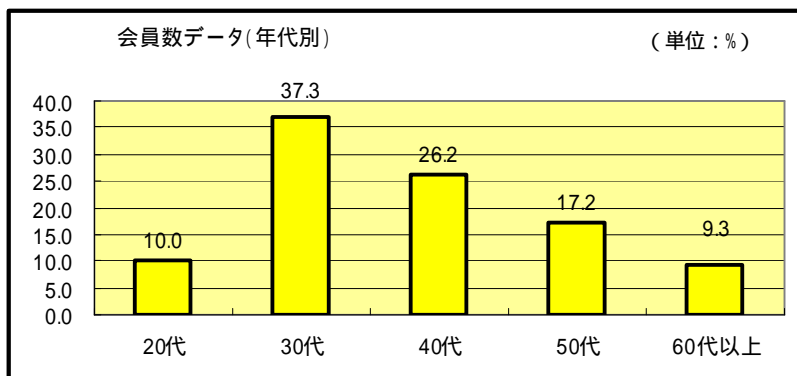
Q1. セミナーへの申込はどのようにしたらいいですか?

A1. セゾン投信サイトにある「セミナー情報」のページをご覧ください。お申し込みいただけるセミナーが表示されますので、お申込画面からお客様の情報をご入力ください。  
お電話でのお申込は当社お客様窓口までご連絡ください。

Q2. 定期積立プランの引落が始まるまでどのくらいかかりますか?

A2. 新規、引落口座変更の場合は毎月20日までに当社に申込書が到着した分が翌々月4日(休日の場合は翌営業日)より引落を開始、または引落口座が変更されます。  
毎月引落するファンドや金額の変更は毎月15日までに申込書が到着した分が翌月4日(休日の場合は翌営業日)の引落より変更が反映されます。

セゾン投信 会員数データ (2007年5月末日現在) 7,291口座



TOPICS:

- ・お客様の約65%の方に『定期積立サービス』のお申込みをいただいております。